



羽島市

HASHIMA CITY



保健センター全員

「心安らぐ幸せ実感都市はしま」を 目指した健幸づくり事業

羽島市ってこんなところ！

当市は岐阜県南部、濃尾平野に位置し、東は木曾川を境として愛知県に接し、北は岐阜市、笠松町、西は長良川を隔てて大垣市、安八町、輪之内町、海津市に接した水と緑に恵まれた街です。人口は令和元年10月現在67,704人、高齢化率は27.1%と年々高齢化が進んでいます。東海道新幹線の岐阜羽島駅や名神高速道路の岐阜羽島インターチェンジが存在し、都市部への良好なアクセスが当市の魅力の一つです。

当市では「心安らぐ幸せ実感都市はしま」を掲げ、市民の皆さんや地域・街全体が生き活きと輝き、誰もが安心感に抱かれ幸せを感じることでできる街を目指して、平成27年に「羽島市第六次総合計画」を策定しました。その中で「市民自ら健康に配慮

しつつ、生涯にわたって健康で活力のある生活を送ることができると」に重点を置き、市民のみなさんの健幸づくりを支援しています。

特定健診・特定保健指導

特定健診は6月～翌2月に市医師会に委託し個別健診を実施しています。平成30年度の受診率は36.0%（法定報告値）で年々受診率が向上しています。未受診者対策として勸奨がきやコールセンターによる受診勧奨、情報提供事業を実施し受診率向上に努めてきました。

特定保健指導は対象者全員に案内を送付し、保健センターで来所面接を実施しています。未来所の場合は地区担当が自宅へ訪問し面接を行っています。不在の場合には曜日や時間を変え、複数回にわたり訪問して

地域の方と協働した健幸づくり

当市には健幸づくり推進員と健幸づくりサポーターが存在します。健幸づくり推進員は市民の皆さんの健幸づくりに対する意欲の高揚を図るため、市・市民・地域団体と協働して地域における健幸づくりを効果的に推進することを目的とし、自治会長の推薦により各自治会1～2名選



健幸づくりサポーター活動

出されます。年間6回の研修会に参加することにより、研修内容を家族や地域に広める活動をしています。健幸づくりサポーターは健幸づくり推進員研修会に3回以上出席した者のうち希望者を対象として募集されています。活動内容は各地域で開催される健幸教室（出前講座）に保健師等と向き健口体操やロコモ体操等を広めたり、年間2～3回の学習会に参加することにより自主的な学習を深めたりしています。令和元年度は9名のサポーターが活動しています。サポーターの多くは各地域で活躍している方々であり、本活動で学んだ内容を地域に広めています。サポーターからは「地域や自分の健幸づくりに繋がりが楽しく活動できている。」という意見をいただいています。

協働運営を通じ知識やノウハウを取得します。当該年度は保健センタースタッフと健幸教室を協働運営しますが、次年度以降は地域リーダーのみで運営し、その地域での継続的な健幸づくりを主導することを期待しています（図1）。

事業の内容や日時は地域リーダーが保健師や管理栄養士と相談の上で決定しました（表1）。地域リーダーからは「住民に説明するためには自分たちが身体の構造や仕組みを知っていなければならない。もっと学習を

市民協働による健幸づくりモデル事業

この事業は、地域での日常的・継続的な健幸づくり習慣の定着を目指し、保健師や管理栄養士等と市民の中から選任した地域リーダー（世話役）が健幸教室を協働運営するものです。地域リーダーは、健幸教室の

図1 市民協働による健幸づくりモデル事業概要

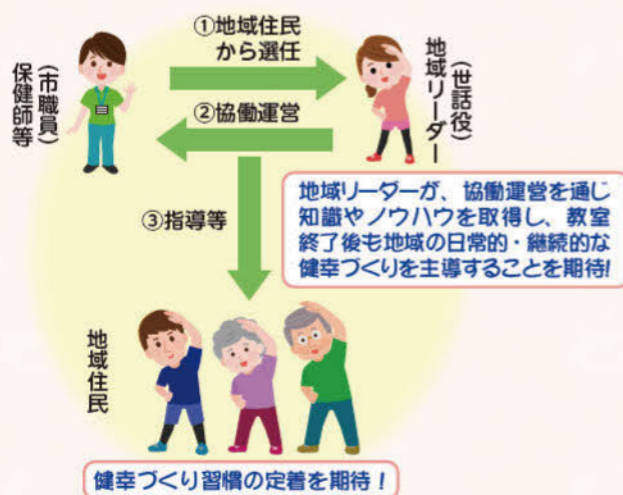


表1 健幸づくりモデル事業スケジュール

日付	内容	スタッフ
1 7/23(火)	ロコモ（概要編）	地域リーダー・保健師
2 8/27(火)	ロコモ（実践編）	地域リーダー・保健師
3 11/18(月)	食事（減塩）	地域リーダー・管理栄養士
4 12/24(火)	食事（消化器のはたらき）	地域リーダー・管理栄養士
5 1/28(火)	フレイル（概要編）	地域リーダー・保健師
6 2/25(火)	フレイル（実践編）	地域リーダー・保健師



市民協働による健幸づくりモデル事業（減塩チェック）



市民協働による健幸づくりモデル事業（地域リーダーによる講義）